

講習内容

①. 特定機能病院の院内感染対策の推進及び近隣医療機関等への指導助言体制の充実を図ることを目的とした講習会

1. 院内感染関連微生物（耐性菌）
Extended spectrum β -lactamase (ESBL)産生菌、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)、*Clostridioides difficile*、MRSA、バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)、多剤耐性緑膿菌 (MDRP)、多剤耐性アシネトバクター)
2. 院内感染対策における大規模医療機関の役割
地域ネットワーク、災害時の感染対策
3. 院内感染における行政との連携
薬剤耐性菌対策アクションプラン、新興感染症への対応（蚊媒介感染症対策を含め）
4. アウトブレイクとその対応
アウトブレイク早期把握のための監視システム、アウトブレイク時の対策、事例の紹介
5. 院内感染の経路とその対策
手指衛生の啓発活動、経路別予防策と個人防護具(PPE)、*Clostridioides difficile* 感染患者への対応
6. ワクチン、職業感染対策（院内感染の基本）
7. 消毒、滅菌（院内感染の基本）、環境ラウンド（ICT 関係）
8. デバイス関連感染症予防対策
中心静脈カテーテル関連性血流感染、尿留置カテーテル関連性尿路感染、人工呼吸器関連性肺炎
9. 微生物検査の実際（染色・培養・迅速検査・MALDI TOF-MS・その他の遺伝子検査）
10. 手術部位感染予防（院内感染の基本）
11. 抗菌薬適正使用（院内感染の基本、ICT/抗菌薬適正使用支援）
12. 感染症サーベイランス
中心静脈カテーテル関連血流感染、手術部位感染症（SSI）
13. 院内感染関連法令
医療法、感染症法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等
14. 総合討論

講習時間：600分

②. 院内感染対策に関して、地域において指導的立場を担うことが期待される病院等の医療従事者を対象とした院内感染対策に関する講習会

1. 院内感染の基本

医療関連感染の概念、感染リスクのとらえ方（宿主側要因、病原体側要因、医原性要因）、日和見感染症、介護と感染

2. 院内感染対策の組織的取り組み

感染対策の院内組織と役割分担、ICT活動の実践、感染対策における多職種連携、リンクナース活動、職員教育

3. 院内感染の経路とその対策

標準予防策の考え方、PPE、経路別予防策（空気予防策、飛沫予防策、接触予防策）、各種感染リスクと対応（デバイス関連感染、手術部位感染）

4. 院内環境整備

洗浄、滅菌・消毒（内視鏡も含む）、院内環境ラウンドのポイント、陰圧室・陽圧室の管理、院内清掃

5. 血液媒介感染と職業感染対策

血液媒介感染と血液曝露、職員の健康管理、職員の抗体保有状況の確認、職員へのワクチン接種

6. 院内感染関連微生物の特徴と国内外の状況

感染対策面で重要な各種病原体（耐性菌を含む細菌、ウイルス、マイコプラズマ、レジオネラ、真菌、抗酸菌等）の概要、新興感染症

7. 微生物検査法と感染症の診断

検体採取および取り扱い上の注意、微生物検査の実際（染色・培養、抗原検出、遺伝子検査、MALDI TOF-MS）、検査結果の評価、微生物検査の精度管理

8. 抗菌薬の適正使用

薬剤耐性菌対策アクションプラン、アンチバイオグラム、antimicrobial stewardship program、指針やガイドラインに基づく抗菌薬使用

9. 抗菌薬の PK/PD, TDM

PK/PD に基づく適切な抗菌薬投与法、TDM の実践、侵襲時における薬物動態

10. アウトブレイクとその対応

アウトブレイクの定義と早期把握のための監視システム、アウトブレイク時の対策（監視培養、遺伝子検査、環境調査など）、外部評価・支援、曝露後予防、アウトブレイク事例の紹介

11. 院内感染対策の地域および行政との連携（災害時の感染対策も含む）

地域ネットワークの構築、感染防止対策加算Ⅰ、Ⅱ取得施設の合同カンファレンスのありかた、保健所等との連携、災害時の感染対策と連携

12. 院内感染関連法令

医療法、感染症法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等

13. 総合討論

講習時間：600分

③. ②の受講対象となる医療機関と連携し、地域における各医療機関の院内感染対策の推進を図ることを目的とした講習会

1. 院内感染の基本 (ICT も含む)

滅菌・消毒の基本と臨床での活用(内視鏡消毒対策も含む)、環境ラウンドのポイント、デバイス関連感染症対策、手術部位感染予防対策(抗菌薬以外)、多職種による多面的感染対策のあり方、血液媒介感染と職業感染

2. 院内感染の経路とその対策

標準予防策と PPE、経路別予防策(空気予防策、飛沫予防策、接触予防策)、接触者対応(結核、流行性角結膜炎、インフルエンザ)、*Clostridioides difficile* 対策

3. 院内感染関連微生物とその検査法

耐性菌(extended spectrum β -lactamase (ESBL)産生菌、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)、*Clostridioides difficile*、MRSA、バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)、多剤耐性緑膿菌(MDRP)、多剤耐性アシネトバクター)。その他関連微生物(細菌、真菌、ウイルス)の概要、検体採取上の注意、微生物検査の実際(染色・培養・抗原検査・遺伝子検査)。

4. 抗菌薬の適正使用 (TDM も含む)

抗菌薬使用調査とその評価法、antimicrobial stewardship、抗菌薬許可制・届け出制のあり方、アンチバイオグラムの作成、治療抗菌薬の選択、TDM: グリコペプチド系薬、アミノグリコシド系薬などにおける目標血中濃度とそれに基づく投与設計、術後感染予防抗菌薬

5. アウトブレイクとその対応

アウトブレイクの定義と早期把握のための監視システム、アウトブレイク時の対策(監視培養、遺伝子検査、環境調査など)、外部評価、メディア対応、アウトブレイク事例の紹介

6. 療養病床・慢性期医療における感染制御

療養病床・慢性期医療における感染症の特徴、高齢者感染症、MRSA など耐性菌保菌者対策、インフルエンザ、ノロウイルス流行時の対応

7. 院内感染における行政との連携

薬剤耐性菌対策アクションプランとワンヘルス・アプローチ、新興感染症への対応(蚊媒介感染症対策を含め)

8. 院内感染関連法令

医療法、感染症法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等

9. 総合討論

講習時間：600分